

## 令和元年度博士課程教育リーディングプログラム委員会議事概要

1. 日時：令和2年2月21日（金）15：00～17：00

2. 場所：日本学術振興会 4階会議室

3. 出席者：

- (委員) 安西委員、猪口委員、内堀委員、太田委員、奥村委員、金子委員、  
鎌田委員、岸委員、北川委員、北山委員、熊谷委員、佐藤委員、新海委員、  
永山委員、長谷山委員、八田委員、林委員、松本委員、室伏委員、  
吉野委員、鷺谷委員
- (文部科学省) 森大臣官房審議官  
平野高等教育局大学振興課大学改革推進室長、  
高橋高等教育局大学振興課大学改革推進室長補佐
- (事務局) 里見理事長、江崎理事、西島監事、石田人材育成事業部長、  
成田大学連携課長

4. 議事概要

(1) POフォローアップ報告書について（報告事項）

「委員会の審議内容等の取扱いについて」（平成23年6月6日博士課程教育リーディングプログラム委員会決定）1. 2) に関する事項につき、非公開。

(2) 平成25年度採択プログラムの事後評価結果について

「委員会の審議内容等の取扱いについて」（平成23年6月6日博士課程教育リーディングプログラム委員会決定）1. 2) に関する事項につき、非公開。

(3) その他

- ・本事業全体に関して意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- 本プログラムの成果や成功例をまとめることや、ウェブなどで公開して他の大学に展開していくと良いのではないかと思う。
- 企業の教育への投資を促すために、本プログラムの修了者をフォローして、本プログラムのような博士課程の修了者と、修了していない者の違いを記録し、企業に対して宣伝していくことが必要であると感じた。
- 共同研究とは異なり、冠講座や寄付については、日本ではなかなか伸びていない。どのように広く寄付を集めていくかという点で、真剣な議論を企業も含めてやっていくべきだと思う。
- 修了者の追跡については、これまではかなり短期的なものしか追えないという状況があったため、修了者が将来どのような形で活躍するかを追い掛けていただきたいと思う。